

# 発明の名称: 抗ヒスチジntag抗体

利用・用途・応用分野

無料開放特許

遺伝子解析、機能解析

目的・課題

解決ポイント

検出感度及び特異性の高い抗ヒスチジntag抗体や、かかる抗ヒスチジntag抗体をコードする遺伝子や、ヒスチジntag融合ポリペプチドを高感度で検出する検出方法や検出キット、ヒスチジntag融合ポリペプチドの高効率な精製方法や精製キットを提供することにある。

大腸菌チオレドキシン(Thioredoxin)(以下、チオレドキシン)に対する抗体の作製過程で、チオレドキシンに融合させたヒスチジntagに結合する抗体を得ることができ、市販の抗ヒスチジntag抗体よりもヒスチジntag検出感度及び特異性が高いことが見いだされた。

研究概要・アピールポイント

従来よりも5~20倍の検出感度でヒスチジntag融合ポリペプチドを検出でき、従来検出できなかった未精製や粗精製抽出液に含まれるヒスチジntag融合ポリペプチドを精製することなく検出できる。また高効率でヒスチジntag融合ポリペプチドを精製でき、費用対効果及び時間対効果の面で優れている。

【抗ヒスチジntag抗体のヒスチジntag融合ポリペプチド検出図(ウェスタンブロッティング法)】

蛋白試料

大腸菌溶解液

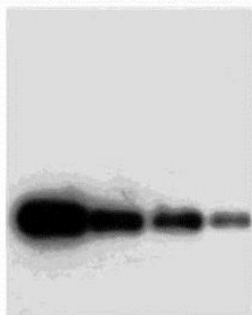
x100 x200 x500 x2000

x100 x200 x500 x2000

x100 x200 x500 x2000倍希釈

Mr  
(kDa)

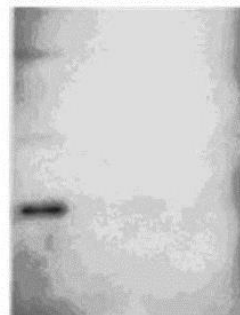
50-  
37-  
25-  
20-  
15-



ハイブリドーマ  
(clone # HF16-1)  
培養上清



ハイブリドーマ  
(clone # HF16-1)  
培養上清から精製



対照

← His-タグ付蛋白

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp